【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公開番号】特開2002-332396(P2002-332396A)
【公開日】平成14年11月22日(2002.11.22)
【出願番号】特願2001-141073(P2001-141073)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ　67/02　　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　 3/30　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　67/02
Ｃ０８Ｋ　 3/30

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月1日(2008.5.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　（ａ）ポリブチレンテレフタレート樹脂３１～５０重量％、（ｂ）ポリエチレンテレフタレート樹脂１０～５０重量％、及び、（ｃ）硫酸バリウム１０～４６重量％からなり、２５０℃で３０分間熱処理したときに該組成物の加熱減量が０．５重量％以下である良外観ポリエステル樹脂組成物であって、（ａ）ポリブチレンテレフタレート樹脂を１００℃で３０分間熱処理したときに発生する揮発ガスの量が、５０ｐｐｍ以下である良外観ポリエステル樹脂組成物。
【請求項２】　（ｂ）ポリエチレンテレフタレート樹脂が１００℃で３０分間熱処理したときに発生する揮発ガスの量が４０ｐｐｍ以下であることを特徴とする請求項１に記載の良外観ポリエステル樹脂組成物。
【請求項３】　（ｃ）硫酸バリウムのメジアン径が０．０３～２μｍである請求項１または２に記載の良外観ポリエステル樹脂組成物。
【請求項４】　（ｄ）ジオール成分とジカルボン酸成分のうちいずれか一方または両方を２種以上含有してなるポリエステル共重合体をさらに２０重量％以下含むことを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載された良外観ポリエステル樹脂組成物。
【請求項５】　陶器調外観が要求される用途に使用されるものである請求項１～４のいずれかに記載の良外観ポリエステル樹脂組成物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するため、本発明は、（ａ）ポリブチレンテレフタレート樹脂３１～５０重量％、（ｂ）ポリエチレンテレフタレート樹脂１０～５０重量％、及び、（ｃ）硫酸バリウム１０～４６重量％からなり、２５０℃で３０分間熱処理したときに該組成物の加熱減量が０．５重量％以下である良外観ポリエステル樹脂組成物であって、（ａ）ポリブチレンテレフタレート樹脂を１００℃で３０分間熱処理したときに発生する揮発ガスの量

が、５０ｐｐｍ以下である良外観ポリエステル樹脂組成物からなることを特徴とするものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記（ｂ）ポリエチレンテレフタレート樹脂としては、１００℃で３０分間熱処理したときに発生する揮発ガスの量が４０ｐｐｍ以下であるものが好ましい。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、本発明で使用される（ａ）ポリブチレンテレフタレート樹脂は、配合に供するペレットの状態で、１００℃の温度条件下、３０分間熱処理した時に発生する、水分以外の揮発ガス発生量が５０ｐｐｍ以下であり、好ましい量は３０ｐｐｍ以下である。揮発ガス発生量が多すぎると成形品表面にガスくもり、シルバー等の外観不良が発生しやすい。